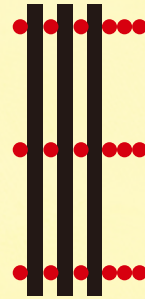


生命に学ぶ 歴史を展く 文化と遊ぶ



編集工学研究所
EDITORIAL ENGINEERING LABORATORY



生命に学ぶ 歴史を展く 文化と遊ぶ

編集工学研究所のフィロソフィー ————— p.02

編集工学研究所の4つのサービス ————— p.08

Roots Editing ————— p.09

Concept Editing ————— p.12

Creation ————— p.15

Education ————— p.19

編集プロセスとサービス領域 ————— p.24



編集工学研究所
EDITORIAL ENGINEERING LABORATORY

編集工学研究所の事業の礎には、創設以来の仕事の作法である

「生命に学ぶ・歴史を展く・文化と遊ぶ」があります。

編集の有り様を「生命」に学び、「歴史」が展開してきた事象を検証し、

「文化」の中にある遊びを重んじる——。

この仕事の作法を通じて、わたしたちは、ものごとの奥に潜む本来の意味を見つけ出し、
社会の力へと転換していきます。

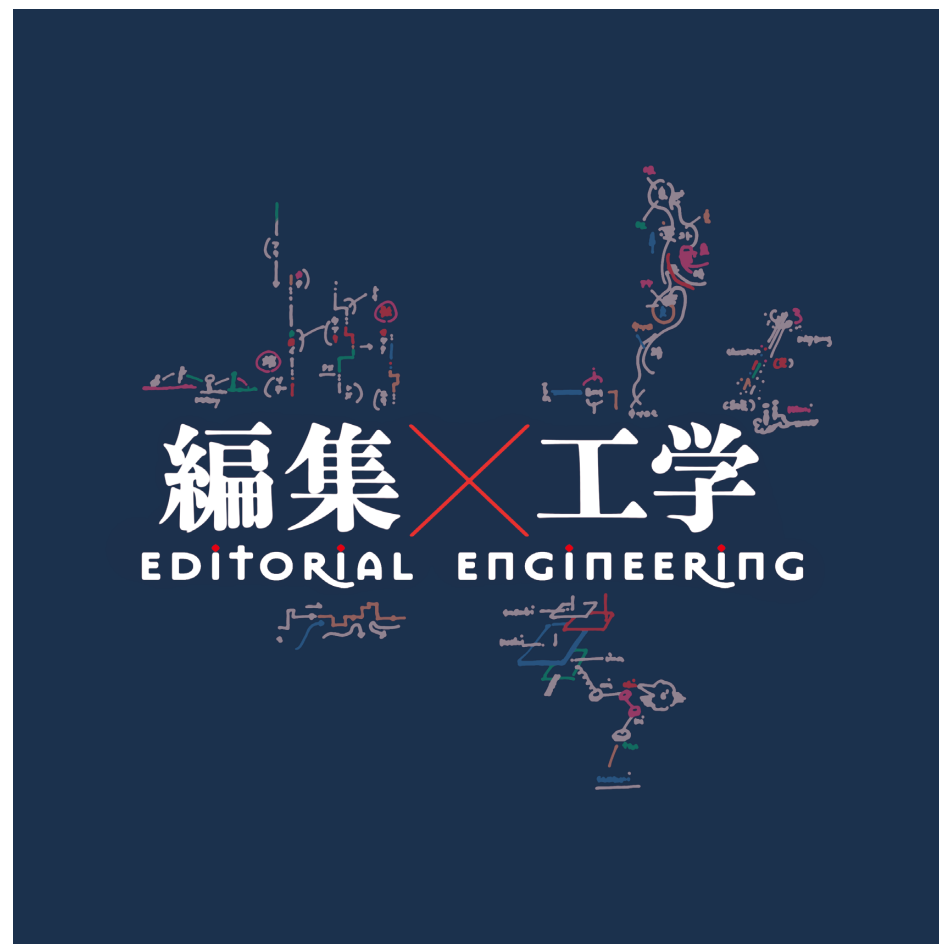
「編集工学」は、人類のあらゆる営みに潜む「編集」の仕組みを明らかにし、新たな価値を生み出すための技術です。

編集工学研究所の所長である松岡正剛は、情報編集の仕組みを研究し、体系化することで、メディア開発や社会課題の解決に応用できる「編集工学」を打ち立てました。

編集工学の「編集」対象は多岐に渡ります。

急速に変化する市場環境、イノベーションが求められる事業領域、活性化を目指す地域コミュニティ、そして、世界へ発信を試みる伝統文化——。

「難所を突破する思い切った編集的発想」と「領域横断的な発見」を新たな価値に転換する編集技術で、編集工学研究所はまだ見ぬ社会の可能性を追求し続けます。



編集工学研究所は「情報社会の編集」と「日本という方法」という2つの事業コンセプトによって、企業や地域の「本来」と「将来」をむすぶ新しい時代の事業モデルを創出しています。多種多様な異能と卓越した専門知で織りなされるネットワークがわたしたちの財産です。

●新たな経済を生み出す

経済文化サロン

独自の“編集的社会像”を構想する「ハイパーエディティングプラットフォーム[AIDA]」は企業経営者や各界の有識者の集いの場。他には見られないユニークなサロン文化が形成されています。

Hyper-Editing Platform
[AIDA]

文化人

学者・研究者

企業人
起業家
経営者

●各界で活躍する

プロフェッショナル・パートナー

専門的な知識や特殊な技術を持つプロフェッショナル集団との連携が可能。組み合わせ自在な協業体制で、ワンストップのサービスを提供します。

事業パートナー

編集パートナー

ブックサロンスペース本楼

●企業と教育現場のための

書籍文化コモンズ

「編集力」開発研修や組織開発支援プログラム、空間設計など、本を活用したさまざまなサービスを提供しています。

探究学習

ブックウェア

科学道
100冊

企業ライブラリー

Quest Link

組織開発

Questサロン

Book Commons Japan

●編集術を社会に適用する

スーパーエディターズ

イシス編集学校に学び、指南力を培った人材は、高度な編集術を身につけています。情報編集のコーチ、研究／開発のサポーター、プロジェクト運営のパートナーとして、様々な分野で編集工学研究所と連携しています。

研究開発パートナー

編集制作パートナー

企画運営パートナー

イシス編集学校

●著者と読者をつなぐ

千夜千冊コモンズ

千夜千冊を社会の公共財として発展させることで、著者、出版社、編集者、書店、地域を繋げ、広範な共読ネットワークを構築していきます。

編集者

出版社

千夜千冊
エディション

著者

松岡正剛の
千夜千冊

松岡正剛ネットワーク

松岡正剛事務所

●トップランナーと縁をむすぶ

クリエイターズ・ネットワーク

松岡正剛の周辺には、実業家、デザイナー、音楽家、建築家、アスリート、演出家、伝統芸能演者など、各界の第一線で活躍するクリエイターが出入りしています。

インターネットで世界とつながり、経済情勢から生活習慣に至るまであらゆる事象がデータ化される高度情報化社会。
クラウドで社会は「所有型」から「共有型」へ移行し、利便性が増す一方、
背景にある物語や因果関係は絡み合った情報群によって伏せられています。
いま問われているのは「情報化」する力ではなく「情報化されたものを編集する力」です。



編集工学の応用分野

電電公社の民営化とともにスタートした編集工学研究所は、30年以上にわたり情報編集技術を蓄積し、体系化してきました。情報編集の技術は、**企業戦略や産業文化振興、次世代リーダー育成**など、時代の要請のなかで、あらゆる課題に対して活用されています。いまやクラウドとビッグデータとAIの時代に至り、編集されないままの情報が溢れています。編集工学研究所は、**編集工学という柔らかな武器**を携えて、複雑化する情報社会のなかで新たな道をひらいていきます。

情報社会には、「物語化の力」も必要です。わたしたちは、コンテキストとストーリーを同時に立ち上げる「**ナラティブ・アプローチ**」を心掛けてきました。2009年から3年間にわたって存在した**実験的書店空間「松丸本舗」**は、文脈に沿った書棚と物語のある場を設計し、一般書店とは一線を画する濃密な書籍空間となりました。松丸本舗のミームを受け継ぎ、**本のある空間の演出から大量の情報を魅力的に表現するメディアづくり**まで、物語の力を駆使した編集活動を展開しています。



物語の力（ナラティブ・アプローチ）



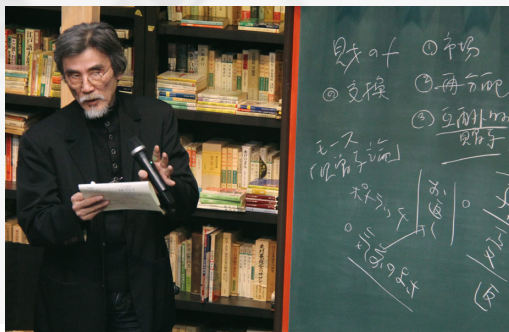
編集工学研究所は、ジャンルやカテゴリーの制約にとらわれず、縦横無尽に情報を編集してきました。『情報の歴史21』は7000万年の人類史を紐解きながら**情報に関するクロニクルデータベース**を構築したプロジェクトです。その他、**大学図書館**へ編集工学に基づいたユニークな図書分類を提供したり、毎年更新する科学関連書籍のブックリスト『科学道100冊』を制作するなど、**自由な視点で知にアクセスできる新しいインターフェイス**を日々、提案しています。

世界知にアクセスするインターフェイス

ますます複雑化する社会において、従来の分析手法や要素還元主義的思考だけでは扱いきれない曖昧さや矛盾に直面することが多くなっています。

暗示力や加工力に優れた日本の知恵や方法は、多様性や多義性をそのままに、新しいソリューションを導く鍵となります。グローバル・ルールが世界を覆ういま、国や地域、企業の中で日本流の方法論が必要とされています。

マーケティングやブランディングなど、ビジネスの最前線や地域活動においても、日本が持つ独自の方法論の活用が進んでいます。編集工学研究所は、企業、地域、自治体に対し、編集工学の観点から、日本文化理解と事業戦略におけるさまざまな方法論を提案してきました。15年続いた次世代リーダー育成塾「ハイパーコーポレートユニバーシティ[AIDA]」では、300人を超える企業人が学び、世界に通用する「日本力」を携えた次世代リーダーとして各方面で活躍しています。2020年から新たに展開する「ハイパーエディティングプラットフォーム[AIDA]」は、オンライン&リアルハイブリット型プログラムを充実させることで、**日本力を携えた人財ネットワーク**のさらなる発展を促進していきます。



「日本力」を携えた次世代リーダーの輩出



経済産業省のクール・ジャパン戦略推進事業の一環として、日本のキーコンセプト群「ジャパン・マザー・プログラム」を構築。その一部を使用した海外向けパンフレット『面影日本Roots of Japan(s)』は、**日本の本質を表現する冊子**として、国内外から大きな反響を得ました。奈良県の平城遷都1300年記念事業として展開された「NARASIA」事業、岩手県の土地や技能にひそむ物語を抽出した「岩手県産品の海外PR事業」、内閣府の要請により編集、制作した『日本語り抄』など、編集工学研究所は「**ジャパン・フィルター**」を通して**日本各地の地域の魅力を表現**しています。

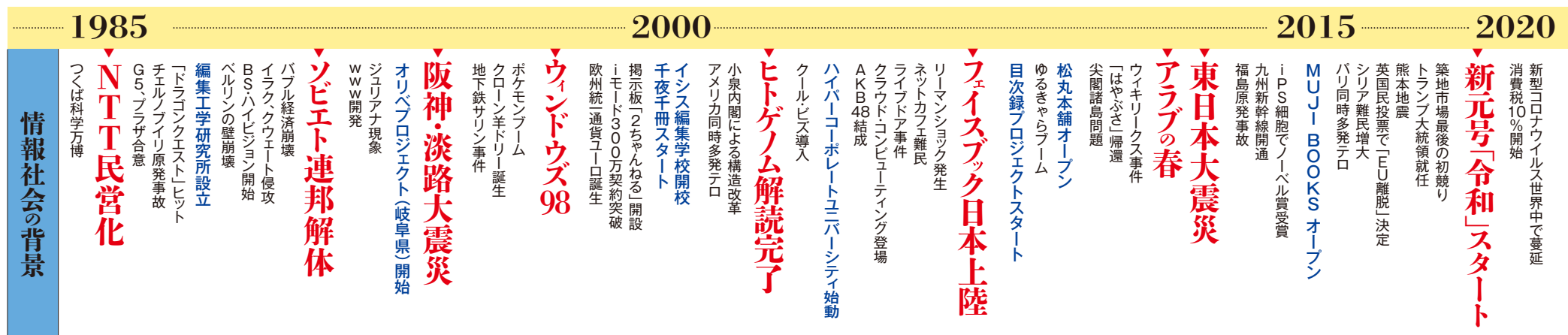
日本の本質を表現するクリエイティブ

編集工学研究所は、松岡正剛が長年にわたり研究してきた「**日本という方法**」を、現代社会で活用できるアーキテクチャとして組み立て、国や地域、企業のためのブランディングやマーケティングといったさまざまな事業に応用しています。社会が複雑化するなか、**日本流の見方や日本ならではの柔らかい手法**が、切実に求められるようになっていきます。編集工学研究所は、その実績を継承し、さらなる研究を進めながら、「**日本という方法**」を多様に展開していきます。



日本という方法

時代ごとの課題に情報編集の技術で応えてきました。



情報社会の背景

マルチな表現力を要求する
高度情報化社会の訪れ



新たな知のあり方を提示する
PC1人1台時代の到来



柔かい情報カテゴリーを生んだ
ソーシャルネットワーク時代



文脈設計力が問われる
リアルとヴァーチャルの共存時代

編集工学研究所の情報編集プロジェクト



●NTT×CF「情報は生きている」[1987]
1985年に民営化されたNTTグループのCFを5本制作。カンヌ映画祭にてクリオ賞・ブロンズ賞を受賞。



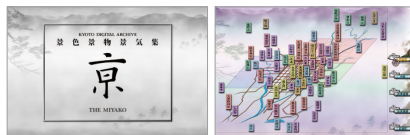
●リクルート×『レジュメクス』[1990]
本文をレジュメ式に簡潔・高密度の情報で構成。組織・仕事・日本など7テーマで制作した企業向け媒体。



●資生堂×ミネルヴァ塾 [1992]
資生堂の文化戦略と編集工学のノウハウを重ねた企業研修。多彩な著名人ゲストを交えて8年間実施。



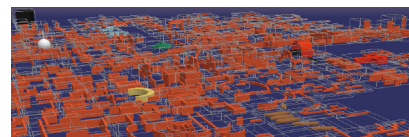
●岐阜県×The ORIBE Project [1994]
茶人織部の精神に学ぶ地域産業振興。国際賞制定や商品開発など、2007年まで続いた長期プロジェクト。



●京都市×「The MIYAKO」システム [1998]
京都の伝統文化情報をアーカイブ化。花鳥風月型連想検索によるハイパーリンクシステムが話題に。



●松岡正剛の千夜千冊 [2000]
一日一冊の本を取り上げ、現在20万冊を超える膨大な知のリゾームを形成するブックナビゲーションサイト。



●NICT×図書館プロジェクト [2005]
新しい「知のパラダイム」が求められた時代に、古今東西の書物によって「街の構造と気配」をデザイン。



●ホンダ×ロボット開発研究会 [2008]
ヒューマノイドロボット開発と編集工学の融合。未来価値創造のためにイシス編集学校のプログラムを活用。



●大日本印刷×「目次録」プロジェクト [2008]
ランキング消費される書物に柔かい文脈を与え、新たな知のカテゴリーを生む壮大な取り組み。



●帝京大学×図書館プロジェクト [2012]
帝京大学八王子キャンパスの「共読ライブラリー」を端緒に、大学図書館のプロデュース事業を展開。



●良品計画×MUJI BOOKS [2015]
無印良品の店内にショップ・イン・ショップを設計。本のある暮らしを提案する「MUJI BOOKS」を、全国・海外40店舗以上で展開している。



●資生堂×THE TABLES [2018]
「SHISEIDO THE TABLES」の選書をプロデュース。年間5つの季節をめぐる空間設計に合わせて、シーズンごとに本を選書している。

編集工学研究所の4つのサービス領域

「らしさ」を辿り、「ありたい未来」を描く



Roots Editing

そこにしかない価値を新しい視点で捉え直す



Concept Editing

空間やメディアで世界観を表現する



Creation

個人や組織の編集力を底上げするさまざまな学びのプログラム



Education



「らしさ」を辿り、「ありたい未来」を描く



Roots Editing

「Roots Editing」は、組織や地域のルーツを未来に向けた新たな物語として編集し直す編集工学研究所のコンサルティングサービスです。

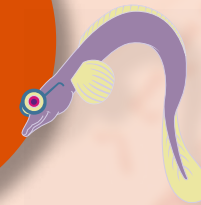
組織や地域自体の歴史にとどまらず、**社会状況、思想傾向**といった時代背景も合わせて調査／分析の対象にします。

「らしさ」を辿り、「**ありたい未来**」を描く。そのプロセスを編集工学研究所がご支援します。

周年事業

経営戦略
策定

理念／
ビジョン
策定



文化的／社会的価値の言語化

理念／ビジョン浸透

CI設計

リクルートさま | 事例



【概要】

株式上場を機に「リクルートらしさ」とは何かを言語化したプロジェクト。創業以来の歴史をひも解き、経営層、社員の中にある企業の文化遺伝子を取り出す工程から、未来に向けた独自の強みを言語化した。リクルートの世界観を表現した社内向け冊子『リクルートのユニークネス』と、松岡正剛執筆による『リクルートという方法』の2冊を制作。

【ポイント】

リクルートの価値観を、仕事観、社会観、組織観、技能観、世界観の5つの観点から分析。「リクルートの5観」として、その後の戦略構築における共通価値観として活用された。

● クライアント(時期)

リクルートホールディングス様(2013年)

● 業務範囲

- ・ コンサルテーション
- ・ 経営理念編集
- ・ インナーコミュニケーションのツール開発
- ・ ブランドストーリー編集
- ・ 各種メディア制作



▲インナーコミュニケーションのための2冊
『リクルートのユニークネス』『リクルートという方法』



そこにしかない価値を新しい視点で捉え直す



Concept Editing



「Concept Editing」は、事業部門やブランド、商品／サービスの本質的な価値を掘り起こし、新たなコンセプトとして表現し直すサービスです。

最終的なアウトプットとしては、「事業計画」「マーケティングプラン」

「プロトタイプ」「キャンペーンコピー」などさまざまです。

編集工学研究所の調査／分析サービスである「Roots Editing」と併せて実施することをおすすめしています。

コンセプト
メイキング

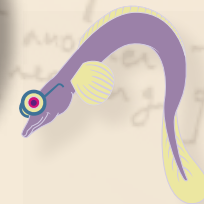
ブランド戦略
新規事業開発

マスター
プラン
策定

事業計画策定
プロセス設計
プロトタイプ制作

シナリオ
設計

コミュニケーション戦略
マーケティング戦略



中川政七商店さま | 事例

【概要】

300周年を迎える中川政七商店の「日本の工芸を元気にする」というビジョンのもと、社会文化や市場における工芸の可能性を捉え直す試みとして編纂した調査分析報告書。工芸の商業的背景を追う工芸ビジネスモデルダイアグラムと、その前後の文化的背景を捉えるクロニクルで構成した。

【ポイント】

日本全国から20工芸を選出し、それぞれの社会背景、支援者、職人、製作工程、流通、消費など、工芸をとりまく環境を調査分析。それらの関係性を「工芸ダイアグラム」として図解し、各環境要因の関係性や生産から消費までの流れを一望した。

● クライアント(時期)

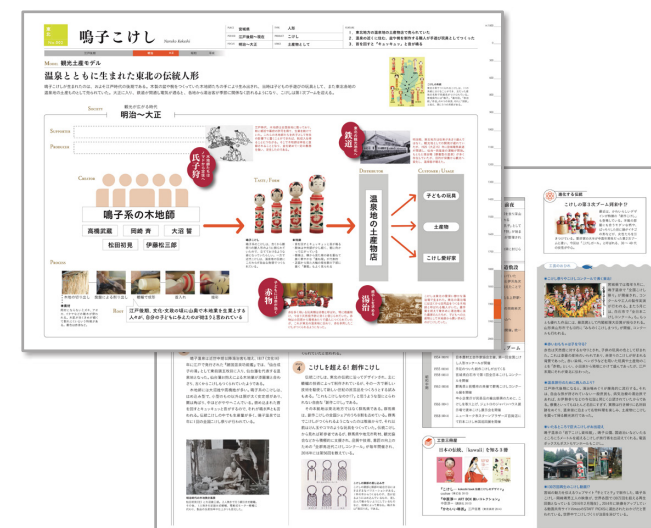
株式会社 中川政七商店(2016年)

● 業務範囲

- ・ コンサルテーション
- ・ 市場調査分析
- ・ 工芸ビジネスモデル分析
- ・ 工芸歴史背景分析
- ・ 調査報告書とりまとめ



▲パンフレット



▲ナレッジベース



空間やメディアで世界観を表現する



Creation



コンセプトを具体的に表現したメディアや空間づくりを支援します。
御社がお客さまと共有したい世界観をまるごと、「コンセプトブック」「書籍」
「映像」「Web」「イベント」「研修プログラム」の形でアウトプット、
御社の資産としてお使いいただけるよう形にします。

企画 プロデュース

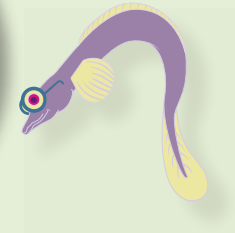
商品企画
プロモーション支援
アワード企画

編集制作

メディア編集
グッズ制作
ロゴデザイン
アプリ制作

空間／ イベント プロデュース

イベント企画／演出
展示スペース設計
店舗企画デザイン



近畿大学「ビブリオシアター」 | 事例



【建学の理念】

文理融合・実学教育

【選書テーマ設計】

- 1階:NOAH33 新しい知の分類を構築し、
近大独自の33のインデックスを設計。
- 2階:DONDEN マンガと新書と文庫のみで構成し、
漫画の世界から読書へ誘う世界初の
試みを実施。

近畿大学の「超近大プロジェクト」の一環として、新校舎の建築に伴って、1階は「NOAH33(ノア33)」と名付けて一般図書を中心に約3万冊を配架、2階は「DONDEN(ドンデン)」と名付け、マンガ約2万2千冊を含め、新書、文庫など約4万冊を配架。また、「ACT(アクト)」と呼ばれる42室のガラス張りの小部屋を設置し、社会の諸問題を解決に導くために学生が議論などを行うプロジェクト空間として活用している。

- 開催期間 2017～
- クライアント 近畿大学
- 場所 東大阪キャンパス

理化学研究所「科学道100冊」 | 事例



【企業メッセージ】 科学道

【選書テーマ設計】

1. はじまりは疑問
2. 果てしない収集
3. 導かれたルール
4. めくるめく失敗
5. まるで魔法
6. 未来のはじまり

理化学研究所が掲げる理念を「科学道」として策定、所外での認知度を高める施策として「科学道100冊」を全国100店舗の書店で展開した。併せて、ブックレットやキャンペーン・キャラクターも制作。



● 開催期間

2016～

● クライアント

理化学研究所

● 場所

全国500個所の書店・図書館・教育機関



個人や組織の編集力を底上げする さまざまな学びのプログラム



Education



複雑さや不確実さが増す時代において、これまで有効とされてきた
分析的手法や論理的思考が思うように機能しない場面が増えています。
静的なフレームによって「正解」を導くロジカル・シンキングや論理力に加えて、
個々人のイマジネーションを動かすアナロジカル・シンキングが求められます。
編集工学研究所では、これからの時代に求められるスキルを育成する「学びの場」を、
オンサイト／オンライン問わず、さまざまな形でご提供しています。

企業内集合研修、スキルアップ講座、リーダー育成プログラム

情報編集力 研修

Quest Reading

探究型読書

インス編集学校

守破離、花伝所、遊、多読ジム、輪読座



HYPER EDITING PLATFORM
[AIDA]

Educationのラインアップ

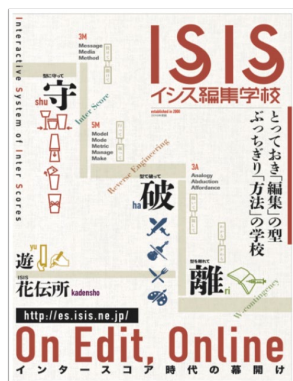
ロジカル思考とアナロジカル思考を縦横無尽に駆使できる人材を育てます。

	人材開発支援				組織開発支援
	情報編集力 研修	Quest Reading	イシス編集学校	AIDA HYPER EDITING PLATFORM [AIDA]	questlink
期間	3時間～2日	3時間	4ヶ月～	6ヶ月～	---
内容	編集工学の基本的な「型」を3時間～2日間のプログラムで講義します。	「探究型読書」という新しい読書メソッドの実践を通して、編集工学の基礎を身につけていただきます。	編集工学に基づいた「編集思考の実践稽古」の場です。「守」「破」「離」などレベルに応じたさまざまなコースを用意しています。	座長・松岡正剛と多彩なゲストのもと、激動の時代を乗り越える議論を展開していきます。	社内ファシリテーター（Quest Linker）を育成することで、「共創型組織」の実現を支援します。
セッション概要	<ul style="list-style-type: none"> ● オリエンテーション ● 情報編集力とは ● 収集 ● 発想 ● 情報収集のための「型」を身につける ● 企画の発想力を高めるための「型」を身につける ● 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ● 読む: 1冊を1時間で読む ● 思索する: 仮説を立てる ● 対話する: メンバー間で仮説を話し合う ● 記録する: 思索内容、対話内容をテキスト化する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 守 基本コース。「型」を学ぶ ● 破 応用コース。物語を極める ● 離 松岡正剛直伝。知を動かす ● 遊 技法研鑽コース。言葉を磨く ● ISIS花伝所 編集コーチ養成コース。師範代になる ● 多読ジム 継続型読書コース。松岡正剛の多読術を学ぶ。 ● 輪読座 読書講座。古典を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各回のテーマ 「生命と文明のAIDA」「電子と意味のAIDA」など、毎回、何かと何かの「あいだ」を巡るテーマで思索と対話を深める。 ● 月1回のリアルセッション 月1回のリアルセッションを半年間（6回）体験しながら、並行してオンラインディスカッションプログラムを受講。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社内ファシリテーター「Quest Linker」養成 2時間×4日間の講義とワークショップ ● 「Quest Linker」による「Quest Link」プログラムの実践 1セッション＝1時間×5ステップ

イシス編集学校

編集工学に基づいた「編集思考の実践稽古」の場

2000年の開講以来、個々人の潜在的な「編集力」を引き出し、情報を集め、関係づけ、表現するまでの「情報編集」に必要な多様なメソッドを学ぶカリキュラムをインターネット上で提供し続けています。また、企業の人材育成や学校教育、地域づくりなどでも展開しています。



『知の編集術』（講談社現代新書）
『知の編集工学』（朝日文庫）

校長 松岡正剛

編集工学研究所 所長

生命の歴史からICTまで、あらゆる情報文化技術を編集工学にまとめ誰もが学べる「方法の学校」とした。東京大学客員教授ほか、ディレクターを務めるプロジェクト多数。平城遷都1300年記念事業、経産省「クリエイティブ・ジャパン」ほか

イシス編集学校



▲守・破・離を中心としたコース。
コーチを養成するISIS花伝所を通じて、様々な職業の人が「編集コーチ」として活躍している。



ネットで

編集力チェック 無料

編集力とはどんなもの？イシス編集学校の稽古を無料で体験できます。ウェブから申し込むと「お題」がメールで送られてきて、回答を返信すると、師範代からの指南コメントが届きます。



リアルで

ISISエディットツアー

ブックサロンスペース本楼ほかユニークな書棚空間を巡りながら、編集の体験を楽しむツアーです。映像や座談、ワークショップを交え、アタマもココロもやわらかくするプログラムで、編集のエッセンスを体感できます。

Hyper-Editing Platform [AIDA]

次世代リーダーの研鑽と共創の「場」

ハイパーエディティングプラットフォーム[AIDA]は、自明となっているグローバル・ルールを「生命的編集力」や「文化的編集力」の観点から捉え直し、常に[AIDA]を見ることを通して、「新たな社会像」を構想する場です。



Hyper-Editing Platform[AIDA]の特徴

1 松岡正剛と日本を代表するゲスト講師陣ネットワーク

各界の達人をゲストに招き、1シーズンを通して共に考え、新たな社会像を描きます

2 時代を切り取るシーズン・テーマ

来たるべき世界を見通すテーマをシーズン毎に設定し、半年かけて実践的な思索や対話を深めていきます

3 多重多層なプログラムで構成するアクション・ラーニング

固定化された見方を脱し先端をゆく知見に学ぶ、オンライン&リアルなハイブリッド型プログラムを仕立てます

4 方法知としての「編集工学」

編集工学メソッドを導入し、知識の吸収に留まらない、方法の獲得を目指します

5 業界・業態の枠を超えた次世代リーダーのメンバーシップ

産業、教育、行政、NPO、宗教、スポーツ、芸能など、ビジネスの枠を超えた多様な次世代リーダーが参集します

過去のテーマ・ゲスト例

◆コードとモードのAIDA

押井守(映画監督)、今福龍太(文化人類学者)、
樂吉左衛門(陶芸家)、柳家花緑(落語家)

◆社会と情報のAIDA

大澤真幸(社会学者)、
手嶋龍一(外交ジャーナリスト・作家)、
アレックス・カー(東洋文化研究家・作家)、
金子郁容(慶応義塾大学教授)

◆神と仏のAIDA／聖と俗のAIDA

青木健(宗教学者)、重信メイ(国際ジャーナリスト)、
橋爪大三郎(社会学者)、安藤礼二(文芸評論家)、
末木文美士(仏教学者)



Roots Editing

Concept Editing

Creation

Education

探索・分析

情報化

約1～2ヶ月

インタビューや社内誌等の閲覧を通じて、組織や地域にまつわる情報を収集します。

STEP 1

仮説・仮組

ルーツの編集

約2ヶ月

収集した情報を分析し、レポートにまとめます。STEP1で収集した情報を分類・関連付けしていくことで、新たな見方を浮上させます。

STEP 2

構造化・概念化

コンセプトメイク

約2ヶ月

STEP1・2で収集分類した情報を構造化・概念化してメッセージやコンセプトを抽出し、コピーライティングや概念図化を行います。

STEP 3

可視化・浸透

共有・浸透へ

施策次第

STEP3で導き出されたコンセプトをもとに、共有と浸透のための各種施策をご提案します。ブック化、映像化、研修化などを行い、組織の資産として形にします。

STEP 4

内容

✓ 聞き取りによる収集

関係者にインタビューを行うことで、組織や地域を成り立たせている「らしさ」の断片を集めます。

✓ 解釈・拡張

組織や地域の歴史的、文化的背景を分析。解釈、(意味の)拡張等を繰り返しながら、論理の筋を通します。

✓ コンセプトメイキング

未来に向かうためのコンセプトを導きます。情報群の全体構造を分析し、コンセプトを抽出、言語化します。

✓ 表現物の制作

印刷物、映像、ライブラリー空間などの表現物を制作します。

施策

✓ 過去資料の収集

社内誌や年頭挨拶、創業の辞、外部インタビュー記事などの過去資料を調査し、プロジェクト資料としてアーカイブします。

✓ レポートニング

解釈、拡張等を行った情報を編集工学研究所独自の分類軸で整理し、組織や地域の価値観や特性を言語化します。

✓ 概念図化

コンセプトを表現する概念図を作成し、社内外ブランディングのための下地となる資料化を行います。

✓ 研修プログラム開発・実施

編集工学研究所が運営する「イシス編集学校」のノウハウを活用し、研修プログラムとツールを組み立て、実施します。

成果物

● 一次情報データベース

● 収集情報結果のレポート
● 「らしさ」分析の解説レポート

● コンセプト概念図

● 印刷物/映像/ライブラリー
● 研修プログラム/ツール

「情報社会の編集」と「日本という方法」によって、
経済と文化が共に支え合い発展する、新しい時代のモデルを創出していきます。

実績

編集工学の基礎研究、教育事業、その他編集工学を活かした
様々なプロジェクトで価値創造支援をしています

■ スタディサブリRARY (2018~)

リクルートとともに高校生のための知を探究する1000冊を選書。高校生の知的好奇心をサイトに実装。

■ 資生堂「THE TABLES」(2018~)

資生堂本店4階フロアにてブックサロンスペースをプロデュース。季節に合わせた選書を演出。

■ 近畿大学「ビブリオシアター」(2017~)

「超近大プロジェクト」の一環で、新たなラーニングコモンズを建設。7万冊の本の空間をプロデュース。

■ 理化学研究所「科学道100冊」(2016~)

理研100周年を記念し、科学を楽しむための書店、図書館フェアを開催。全国1000ヶ所以上に展開。

■ 良品計画「MUJI BOOKS」(2015~)

無印良品とコラボし、ショップの中に書店を展開。恵比寿、京都、大阪、福岡、仙台など全国に拡大中。

■ 経産省「ジャパンマザー」(2014~)

経済産業省の推進事業の一環で日本文化の基本コンセプトを研究。

■ イシス編集学校(2000~)

情報編集の方法に学ぶオンライン学校。これまでの受講生は3万人を超える。

■ ハイパーエディティングプラットフォーム [AIDA] (2020~)

「日本」と「アイダ」をテーマにした次世代リーダーの研鑽と共創の「場」。

会社名	株式会社 編集工学研究所
設立	1987年7月15日
資本金	75,000千円
代表取締役社長	安藤昭子
取締役所長	松岡正剛
取締役CFO	野村育弘
取締役	塚本由紀 矢野正也 鈴木康友 大熊高明
従業員数	20名
所在地	〒156-0044 東京都世田谷区赤堤2丁目15番3号
連絡先	Tel 03-5301-2211 (代表) Fax 03-5301-2215
URL	http://www.eel.co.jp
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 編集工学の基礎研究およびその応用実践 ● イシス編集学校の企画／開発および運営 ● 編集工学を応用した各種事業 コンサルティング事業、教育・研修事業、施設／展示会／イベントなどのプロデュース事業、編集ツール／システムの研究開発事業、編集／出版事業 等



編集工学研究所 入口
「井寸房(せいすんぼう)」



編集工学研究所 ブックサロンスペース
「本楼(ほんろう)」

本件に関するお問い合わせ

編集工学研究所 営業担当

Tel 03-5301-2214 E-mail info@eel.co.jp